大正５年５月５日木藤精一郎創立

やまゆき会会報

平成 30 年 11 月号

例　会　報　告

比良山地：金糞峠～烏谷山～打見山　上級Ｃ

9月２日（日）　薄曇　担当:山田昭則　参加者5名

参加者は、何度か一緒に山歩きをしたメンバーである。猛暑が過ぎ今日は薄曇の空模様である。登り２時間、尾根縦走３時間、下り２時間のロングコースであるが、金糞峠から打見山までの縦走路は歩く人が少ないだろうから登山道に注意しなければならない。

JR比良駅からバスでイン谷口バス停に着き、ストレッチ・体操をしてルートの概要を説明し、2 時間の登りへとゆっくりペースで歩を進めた。1 時間ほどで青ガレの手前にあるかくれ滝に着き、小休止。ひっそりと隠れた分かりにくい滝である。青ガレの岩場を登ると金糞峠への谷筋であるが、台風、大雨の影響でひどく荒れており気をつけながら登りきると、ちょうど２時間で金糞峠に着いた。眼下に、薄っすらと琵琶湖の湖面が見渡せた。風も爽やかで汗ばむことなく快適な山歩きである。ここから縦走路を打見山を目指して歩き始めるが、踏み跡の少ない登山道のためルートを外れてしまった。右にそれているようなので、注意しながら前方の尾根に上がると登山道が見つかり南比良峠を目指した。堂満岳付近では石楠花が群生していた。南比良峠は何もない峠なのでやり過ごして、次の荒川峠で琵琶湖が望めるし、風も爽やかなので昼食を摂ることとした。

リュックは少し軽くなったが、お腹が膨らんで登りは歩きづらいが、緩やかな登りが続く烏谷（カラト）山を目指す。縦走路から少し外れた山頂（三等三角点 1076.5m）は眼下に琵琶湖が、北には堂満岳、武奈ヶ岳が見渡せた。縦走路で出会った二人組が居たのでシャッターを押してもらって、南に見える比良岳、打見山へ向かうこととした。比良岳のピークはルートより西よりにあるので割愛し木戸峠へと下っていくが、私の右足の甲の辺りが突っ張りだし、治まったと思ったら、次は左足にきたので特効薬を貰って飲むと治まった。木戸峠からはスキー場のゲレンデ、最後の急な登りである。ここまでの縦走路は近年歩く登山者が少ないようで、大きく外れることはなかったが、踏み跡がなく、何度かルートを外れ、テープなどを探しながら登山道を外れないように注意しなければならなかった。

打見山では多くの行楽客が居られた。ゆっくり休憩して蓬莱山をバックに写真を撮って下ることとした（昨年はロープウェイの故障で行楽客が一緒に下山した）。クロトノハゲを過ぎて杉・桧などの樹林帯に入ると風水害の影響であちこちに倒木が見られた。天狗杉の近くでも大きな

木が倒れて登山道を塞いでいた。その上ボール位の石がごろごろして歩きづらかった。女性三人組も疲れたと言っていた。2時間以上の時間を要したが無事 JR 志賀駅に下山し、解散。

みなさん、疲れたがロングコースを歩き満足しているようでした。

コースタイム

JR比良駅＝イン谷口バス停(8:35)～かくれ滝(9:26-9:32)～青ガレ(9:52-9:57)～金糞峠(10:35-10:46)～南比良峠(11:34)～荒川峠(11:55-12:25)～烏谷山(12:54-13:01)～葛川越(13:19-13:21)～比良岳(13:39-13:43)～木戸峠(14:16-14:20)～打見山(14:38-15:03)～天狗杉(15:54-15:58)～分岐(16:39-16:46)～JR志賀駅・解散(17:24)

播磨：辻川山(宮山)周辺散策－柳田國男の故郷を歩く　初級 B

9 月 2 日(日) 晴　担当:浜崎邦男　参加者 20 名

今日は一日中暑くなりそうなので、JR 福崎駅の冷房の効いた待合室で今日の予定を説明してから出発しました。本覚寺から大歳神社、大塚古墳(古墳時代の後期に作られたと思われる横穴式石室で全長 12.3m、直径 30m、高さ 3.5m)と、道中暑い中を見学して辻川山公園に到着。お待ちかねの「もちむぎ館」等でゆっくり目の昼食休憩を済ませて、鈴の森神社、柳田國男生家、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家顕彰会記念館等、自由散策の時間をとりました。

そののち再集合し、今日の山行で唯一、土の道、短歌の森を散策しながら民俗の森・展望台「辻川山(宮山)」に登り 360 度の展望を楽しみ、その後、神積寺を経由して大庄屋三木家ではボランティアガイドの説明でその当時の歴史を偲んだ後、福崎駅で解散。

コースタイム、

JR 福崎駅(10:20)～本覚寺(10:25-10:30)～大歳神社(10:33-10:40)～大塚古墳(10:55-11:00)～辻川山公園(11:30-13:00)～辻川山山頂(13:30-13:35)～神積寺(13:45-13:50)～大庄屋三木家(14:20-14:40)～JR 福崎駅(15:15)

丹波高原中部：霧山(371.5m)～犬岡山(明治山・153.6m)　中級C

9 月 8 日(土)　担当:石田高教

兵庫県北部の降水確率が 70%のため雨天中止とします

両白山地： 荒島岳（1523.4m）日本百名山　上級 C

9 月 8 日(土)～9 日(日)　担当:吉井利一

台風 21 号の影響による登山道の安全が確保できないため中止します

播磨西部： 読図例会 （岩屋谷公園） 初級 C

9 月 9 日(日)　雨　担当:西山弘一　参加者 6 名

姫路は朝から雨である。今回の読図例会は、初級編に戻り机上学習を予定していたので雨天決行としていたが、360 度の眺望を誇る天下台山の山頂をあきらめざるを得ないのはやはり残念である。気を取り直して、家を出発して電車に飛び乗る。相生駅に近づき左手を見ると、天下台山は車窓の雨の雫と山にかかる雲で山頂が見えない。こうなったら徹底的に机上学習をやろうと気を取り直す。

相生駅に集合したメンバーは私を入れて 6 名。外は雨の為、駅舎内の新幹線待合広場に移動して、時計(高度計)を見ると点滅状態でバッテリー切れが発覚したが、予備の電池に変えて事なきを得た(時計だけでなく、ランプやスマホ等の予備電池も必ずザックにいれておきましょう)。

早速今回から始めた「Geographica」の基本的な使い方を講習。トラッキング機能を ON にして、これから歩くルート(登山口の公園まで)を記録するようにセット。一方配布した拡大 1/25000 地図には、これから歩くルートをペンで記入して、公園到着後、正しくルートを記入できたか？を「Geographica」のトラッキング記録で確認する旨を説明して出発。スマホはポケットに入れ、地図とペンを持って、傘をさして公園へと向かう。

途中地図では寺社や石碑の地図記号があるものの、その場所に到着すると実際にはなかったり、場所が違っていたりする地図の間違いを発見。地図にも間違いがあることを認識頂く。その後日頃はあまり見かけない地図記号(□中央に中点)は何か？等の地図記号に関する復習を行いながら歩く。⊡は水準点であるが、その水準点を実際に探し実物を確認すると共に、三角点との違いを理解する。水準点から公園へ向かう途中で雨脚が強くなってきたので、急ぎ足で公園へ向かう。幸い公園内にある四阿(写真)は屋根が大きく、雨はしのげそう。

四阿で一息ついて、早速「Geographica」のトラッキング記録と、ペンで地図に記入したルートを比較し、正しく記入できたことを確認。また「Geographica」で、歩行時間・最高高度・最低高度・累積高度(±)等を確認できる集計機能の使い方等を学習。気づくと 12 時を過ぎているので、昼食休憩とする。

昼食後は、読図の基本をじっくりと学習。地形図の見方、磁北線の記入の仕方、地形図の折り畳み方等を実習。コンパス実習では、地図とコンパスを使って、分岐点での進むべき方向の見つけ方や山座同定のやり方を学ぶ。読図の基本はテキストを使用して、等高線の見方、登山道の特徴（尾根・谷・斜面道・コル等）や尾根はピークで分岐すること、また尾根の分岐点が丸く等高線が閉じていない隠れピークに注意すること等を学習。地図上での現在地確認ポイントの設定とポイント間の先読みの基礎も学習して、読図例会を終了。雨が止まぬ中、相生駅へと向かった。

コースタイム

JR 相生駅(9:40-10:15)～岩屋谷公園で机上学習・昼食(11:20-14:50)～JR 相生駅(15:35)解散

<u>淡路島：釜口山（一等△ 475.7m）～月ノ山観音</u>　中級C

9月 12 日（水）　曇一時小雨　担当：石田幸弘　参加者6名

・台風 21 号は去ったが秋雨前線が停滞して雨が続く。明け方は雨だったが、なんとか持ちこたえている。小雨決行にしていたら、幸いにも6名の参加があった。

・高速舞子バスのりばからのバスに乗ったのは何年前だったか？JR 舞子駅からの案内表示を皆と探し、上へ上へと向かい、エレベーターで4階のバスのりばに上がる。
明石海峡を見下ろすように眺めているとあっという間に淡路島に着いた。高速バスの案内は英語、中国語、韓国語が飛び出して海外旅行の様な気分になる。

・野田バス停で降り、北西方向の妙見山を目指すと頭にあった道を西寄りに歩いたら登山口が見つからない。最初から里山の道迷い！釜口小井からも登山口があるので、小井登山口まで歩いた。土産屋のおじさんに聞くと淡路島の神社巡りの人はこの道をよく歩くと言う。

・少し上の御井の清水を見送り、ゆっくりと二時間ほど登って高度を稼ぐとアジサイ園があった。車道にはあちこち木が倒れていて車は通れないが、歩くぶんには何とか通れた。台風 21 号の仕業だろう。

・昼前に妙見宮に着いた。こじんまりとした社は無住で、昭和 60 年建立と書いてあったが古びた感じだった。ここは昔来たことがあるが、記憶が薄れてしまっている！

・妙見宮の鳥居をくぐって北東の釜口山へ、車道横のひと登り。三角点と八角計の天測点があった。

・月ノ山観音も無住の寺、境内は広く車で来られる。

藤堂さんボッカのあんこたっぷりの「しらたま」を御馳走になった。お代わりもして、おいしくいただいた。ここからはひたすら下り、里に下りて池の土手の三角点里をやっと見つけた。すぐ横の平和観音寺は閉鎖されていた。今日は舗装道路歩きの廃寺巡りだった。晴れ女が居たので雨は避けられたが街歩きのような山行、これに懲りずまたおつきあい下さい。

コースタイム

JR舞子駅(7:55)～高速舞子バスのりば(8:05-8:10)＝東浦バスターミナル(8:36)＝野田バス停(8:45-8:55)～小井登山口(9:40)～御井の清水分岐(10:05)～休憩(10:35-10:45)～アジサイ園(11:30)～妙見宮・522m(11:55-12:30)～釜口山・天測点(13:10-13:15)～月ノ山観音(13:35-13:55)～ρ里・42.5m・四等(14:50-15:00)～平和観音寺前(15:10)～津田バス停(15:15)～南の町バス停(15:38-16:00)＝東浦バスターミナル(16:10-16:35)＝高速舞子バスのりば・解散(17:00)

高見山地：　竜鎮渓谷～室生寺　初級C

9月16日(日)曇り　担当:菅生佳余子　参加者28名

車窓に広がっていた景色が山間部特有の景色に一変すると、室生口大野駅に着いた。駅舎をあとに先ずは室生ダムを目指す。ほどなく大野寺対岸の岩肌に高さ 10m はあろうか磨崖仏が見えて来た。線刻で輪郭は判然としないが長い歳月に耐えた風格が感じられる。橋の袂で班分けの後、山行準備を終え、室生ダムで集合写真を撮るが、最近とみに手慣れて来た「カメラマン」其処は山の景色がアカン、アッチへ行け、コッチを向けと、注文もプロ級並み。

竜鎮渓谷に入って間もなく滝があり、小規模ながらゴルジュから流れ落ちるさまと、釜の色は目を見張る美しさだ。暫しの休憩とする。夏の終わりを感じているのか、遠慮がちなセミの鳴き声が聞こえる。荷坂分岐で東に進路を取り、渡渉の鉄則、流れの広い箇所を渡り、幅10m程の4度目の渡渉は左岸へ。風化した赤いテープは荷坂峠への道しるべだろうか？鮮明な踏み跡もあり危うく釣られそうだ。地形図では高巻きの後、右岸を行くようだが、水量少なく川幅が狭くなった川底を覗き見て、冒険心が「ムクムク！」渡渉あり、スラブ状のナメ床あり、ゴーロ帯あり、藪漕ぎ等、学習のテーマとしていた「コース上の登山用語」の大半がここに集結。谷から上がり、道幅30㎝程の、岩や根っこが張り出す急な登りで疲れて来た頃、本日最高地点の林道に到着した。昼時になったので昼食とする。

食後、草花や清らかな川の流れを楽しみつつ、仏隆寺分岐を経て急坂を下って行くと、展

望が開け室生の里が一望できた。古い立て札の下に、はかなげに月見草の花が咲いている。ここからは田畑と民家の間を縦横無尽・アメーバの様に広がる農道と生活道路。うっかりすると民家の庭先で進退窮まるので、室生寺の方角をめがけ、畑と民家の間を縫うように一気に下った。地すべりの原因となる地下水を排除するための「集水井」の設置された広場で一休み。
休息の度に、緑・赤・黄色と多彩なフルーツやお菓子を頂いたが、終盤は、「お疲れさま」と、ご褒美のような、冷たい水羊羹の差し入れで舌鼓。元気を取り戻し、国道165号線に出た。

21 号台風の爪痕に備え用具を準備して臨んだが、入渓までに道路の陥没や降雨に見舞われたものの、竜鎮渓谷は何事も無かった様に美しかった。室生寺門前にて解散。

コースタイム

近鉄大阪線室生口大野駅(9:22)～室生路橋(9:42-9:52)～室生ダム(10:09-10:21)～龍鎮神社(10:41-10:53)～荷坂分岐手前橋(11:24-11:35)～最高地点・昼食(12:22-12:50)～林道カトラ線・仏隆寺分岐(13:33)～集水井(13:57-14:06)～室生寺(14:21)

京都北山：地蔵山（⌕ 947.3m）～竜ケ岳（921m） 上級 C

9 月 23 日(日) 担当:原田佳忠

下見の結果、台風 21 号の被害が甚大な状況のため中止します

京都西山：天王山 初級 B

9 月 30 日(日) 担当:諸橋勝彦

台風 21 号の影響で「天王山ハイキングコース」が閉鎖されているため中止します。